

創立30周年記念企画 働く人の意識調査2026

OKB総研では毎年、新入社員アンケートを通じて、当地域で働く若者の就業意識や価値観の変化を定点観測している。創立30周年を記念し、今回は愛知県・岐阜県で働く会社員1,000人を対象にアンケート調査を実施した。仕事の目的や仕事と余暇の考え方、職場の人間関係、管理職に対する意識、理想の上司像などについて、世代や性別による違いにも注目しながら、働く人たちの意識や本音を探った。前章の「新入社員アンケート」と読み比べることで、世代や立場による価値観の違いや共通点も見えてくるのではないだろうか。

● 調査概要

調査対象：愛知県・岐阜県在住の20～60代会社員	有効回答数：1,000人
調査方法：インターネット調査（アンケートモニター）	居住地：愛知県82.0%、岐阜県18.0%
調査時期：2026年5月	

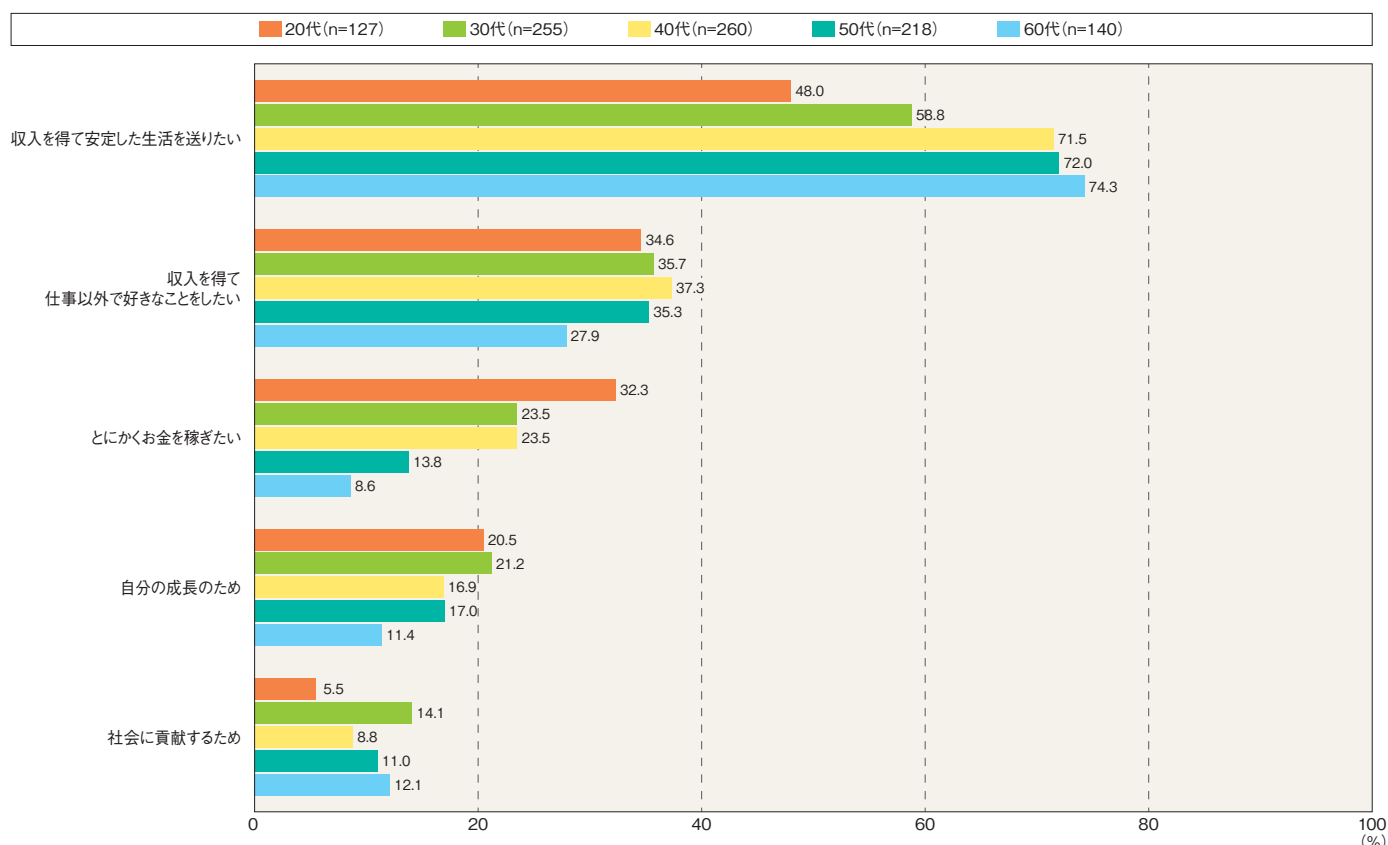


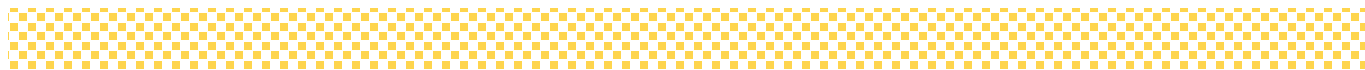
（※1）本文およびグラフ中の「n」は回答者数を表す。
 （※2）構成比（%）は小数第2位を四捨五入した。

① 働く目的は「安定した生活」

働く目的として最も多かったのは、いずれの年代でも「収入を得て安定した生活を送りたい」であった。特に40代以降では7割を超え、年代が上がるにつれて生活の安定を重視する傾向がみられた。一方、「とにかくお金を稼ぎたい」は20代で32.3%と最も高く、60代の8.6%を大きく上回った。また、「自分の成長のため」も20代・30代で比較的高く、若い世代ほど収入や成長への関心が高いことがうかがえる。

あなたが働く目的は何ですか（3つまで選択）（上位5項目）



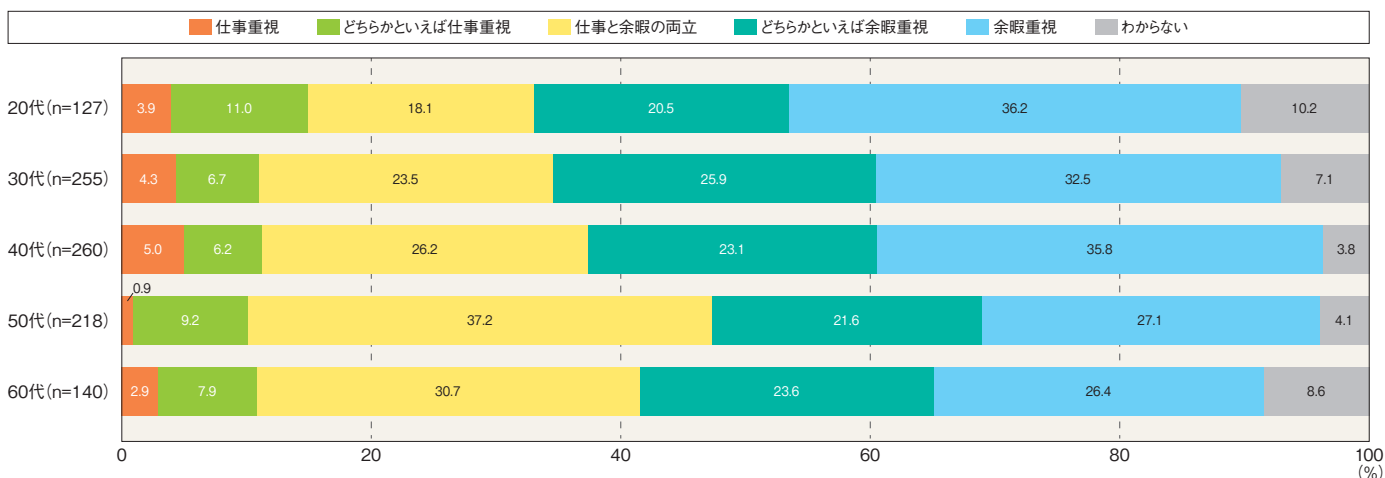


② 仕事よりも余暇を重視

「余暇重視」と「どちらかといえば余暇重視」を合わせた割合は、20代から40代で6割弱、50代・60代でも約5割を占めた。20代から40代では「仕事と余暇の両立」を上回り、特に余暇を重視する傾向がみられた。一方、50代では「仕事と余暇の両立」が37.2%と他の年代に比べて高く、仕事と私生活の双方を重視する傾向もみられた。



仕事と余暇のどちらを重視しますか

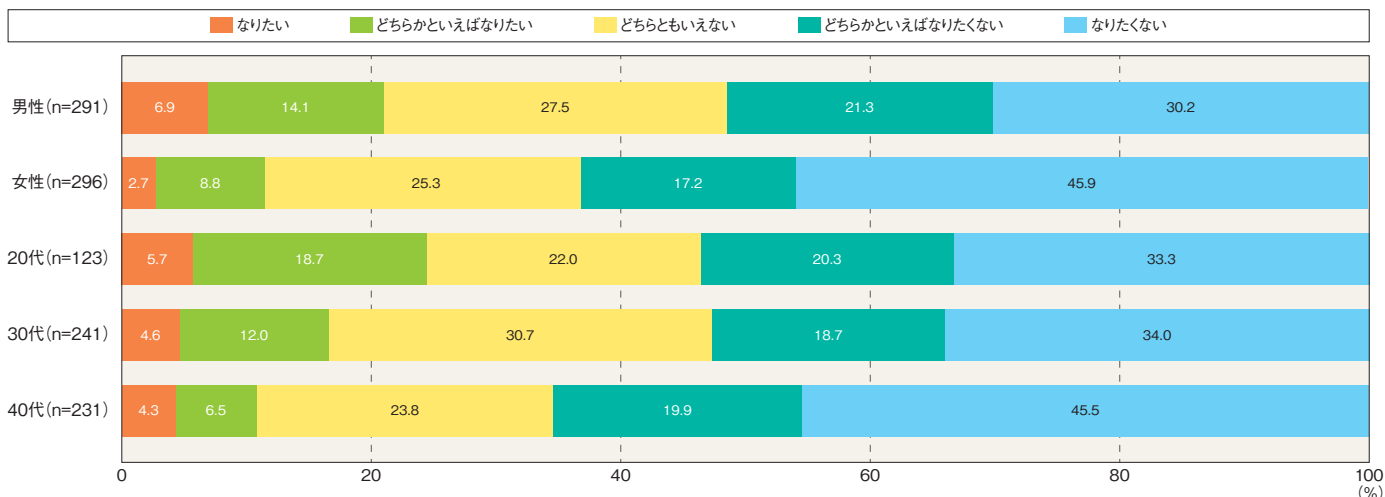


③ 管理職を希望する人は少数派

40代以下の主任・係長以下の会社員に管理職への意向を尋ねたところ、「なりたい」と「どちらかといえばなりたい」を合わせた割合は、20代の24.4%から40代の10.8%へと年代が上がるにつれ、低くなっている。一方、「なりたくない」と「どちらかといえばなりたくない」を合わせた割合は、いずれの年代でも半数を超えており、管理職を前向きに捉える人は少数派となっている。また、管理職志向は男性21.0%、女性11.5%と男性の方が高かった。



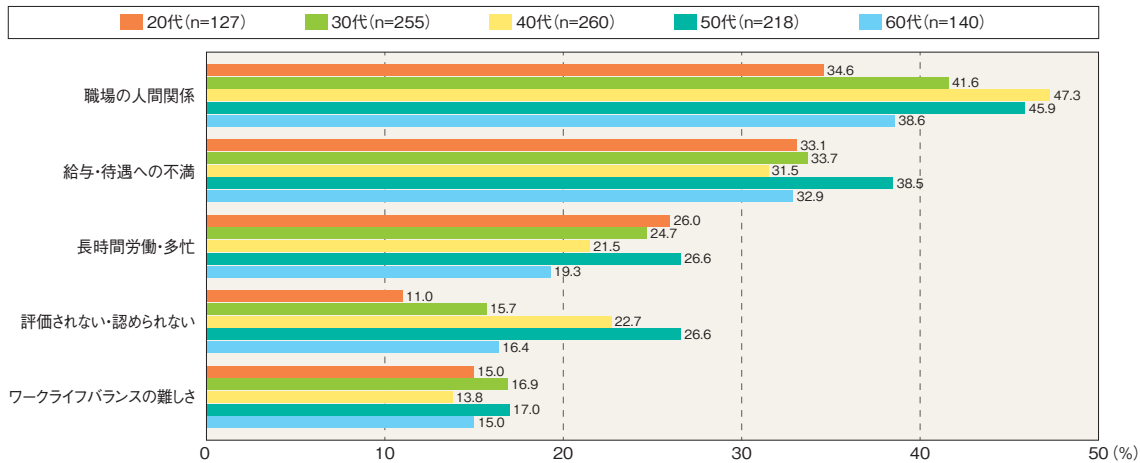
管理職になることについて、どのように考えていますか(40代以下、主任・係長以下)



④ 悩みは「人間関係」と「給与・待遇」

職場での悩みとしては、各年代とも「職場の人間関係」や「給与・待遇への不満」が上位に挙げられた。年代別にみると、「職場の人間関係」は30代から50代で4割を超え、「評価されない・認められない」も40代・50代で比較的高くなった。一方、「給与・待遇への不満」は年代を問わず3割台と高い水準にあった。

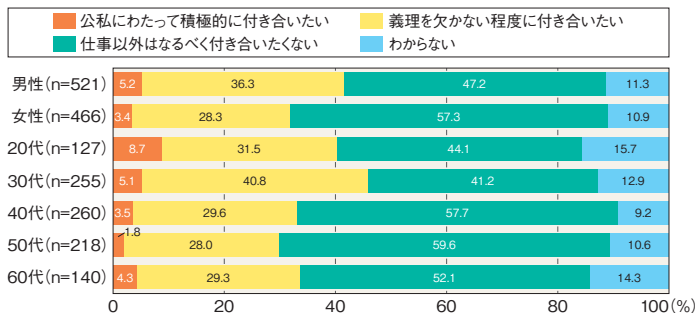
これまでの勤務において、困難だったこと、不安だったこと(3つまで選択)(上位5項目)



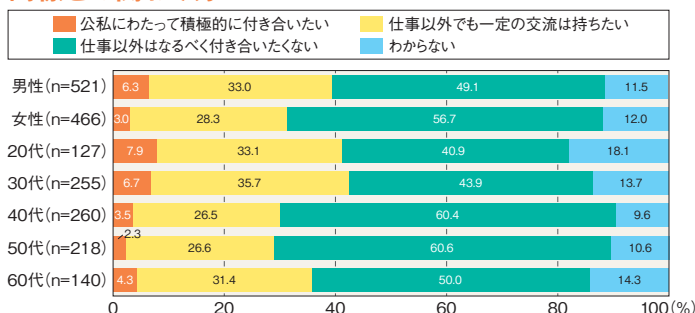
⑤ 職場の人間関係は「仕事の範囲で」

上司、同僚、部下との関わり方について尋ねたところ、いずれも「仕事以外はなるべく付き合いたくない」が最も多い回答となった。年代別にみると、20代・30代よりも40代・50代でその割合が高く、職場の人間関係を仕事中心に考える傾向が強くなり、また、男女別では女性の方が「仕事以外はなるべく付き合いたくない」と回答した割合が高く、特に部下との関係では男性を10ポイント以上上回った。若年層ほど人付き合いに消極的というイメージもあるが、本調査では40代・50代でより顕著な傾向がみられた。

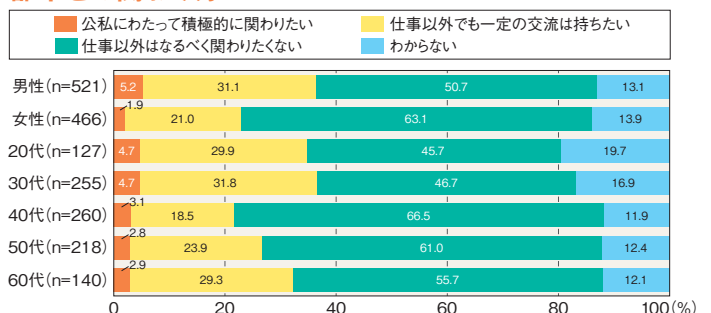
上司との関わり方



同僚との関わり方



部下との関わり方



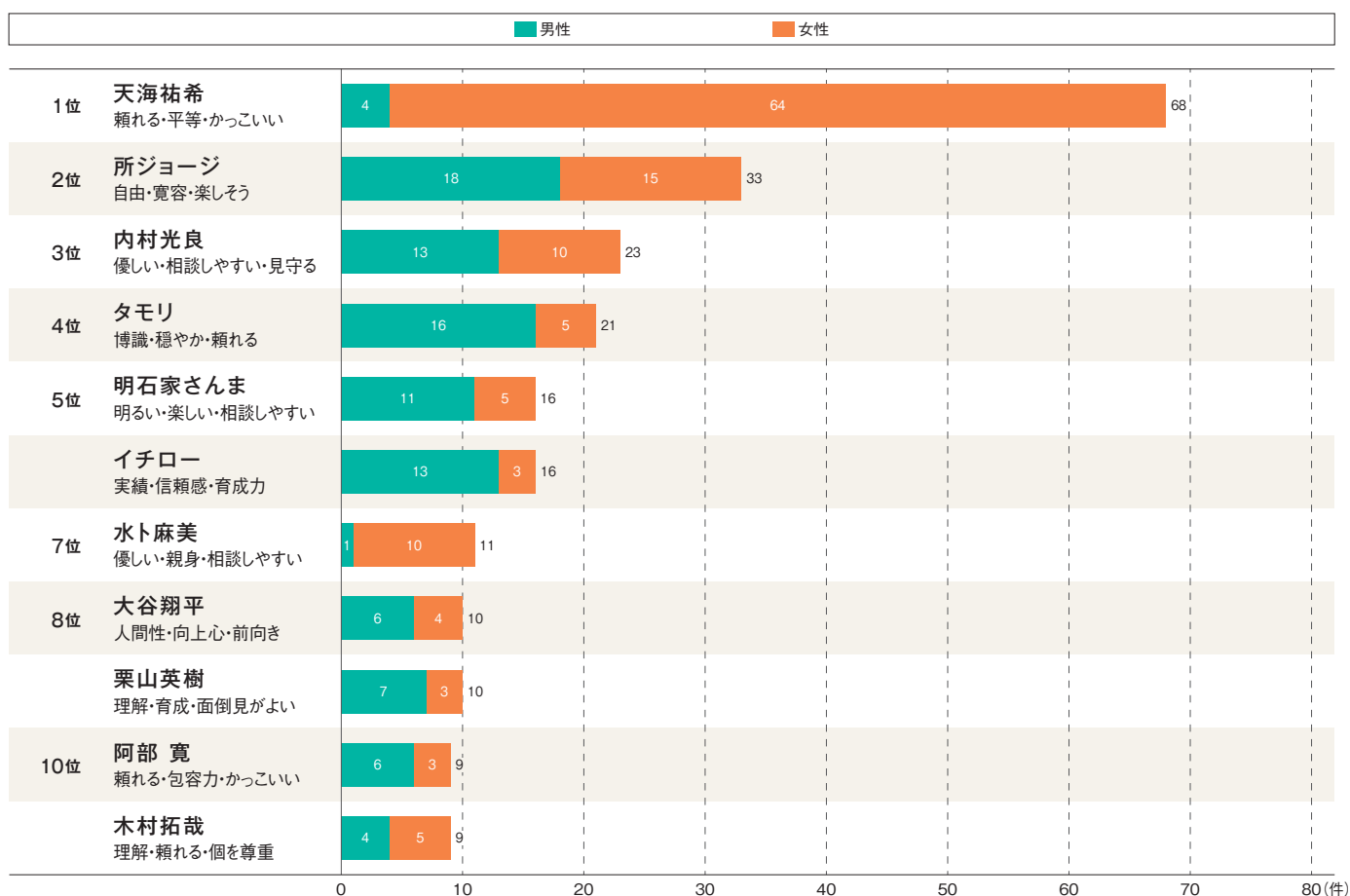
⑥ 理想の上司像

理想の上司として思い浮かぶ著名人・有名人と、その理由を尋ねたところ、天海祐希が突出した支持を集めたほか、所ジョージ、内村光良、タモリなどが上位に並んだ。女性では天海祐希への支持が特に高く、男性では所ジョージやタモリ、イチローなどに支持が分かれた。

上位に挙がった人物には、「頼りになる」「カッコいい」「平等に接してくれそう」「自由にやらせてくれそう」「相談しやすい」などの理由が多くみられた。

理想の上司ランキング(敬称略)

(※) キーワードは回答内容をもとに整理



(2026.6.16)

OKB総研 調査部 中澤 大輔